

オル太

『超衆芸術スタンドプレー 夜明けから夜明けまで』

特別上映

2019年に墨田区北東部を拠点に活動する「ファンタジア! ファンタジア! —生き方がかたちになったまち—」に招聘され、墨田区についての調査を行った。曳舟から程近い東京都墨田区東向島は昔、玉ノ井と呼ばれ、私娼窟があり、今でもカフェー建築を模した建物の名残が微かに残る。隅田川と荒川の2つの川に挟まれたこの地域には、皮革産業の工場があり、元々は浅草にあったものが、臭気の問題により移動させられた。また、荒川は人の手によって巨大に広げられ、多くの在留朝鮮人や中国人も働き、そして、関東大震災後の流言飛語によって多くの朝鮮人が虐殺された。今ではマンションも立ち並び、東京スカイツリーによって大きく変化した街並みの背景には、多くの人々の苦難の歴史や分断によってできた営みがある。

2020年に開催した展覧会では、関東大震災の翌年、大正13(1924)年に開設された日本初の新劇の常設劇場「築地小劇場」において、村山知義がデザインし、今和次郎らも制作に加わったゲオルグ・カイザー作(土方与志演出、千田是也出演)『朝から夜中まで』の舞台美術を元に、関東大震災下で今和次郎が採集したバラック建築のスケッチからインスタレーションを展開した。映像では、永井荷風、釈道空、竹久夢二、小津安二郎などの文学者や民俗学者、映画監督の記述や記録と街で見聞きした観察の再現を織り交ぜた脚本を制作し、街を歩き、徐々に明らかになっていく街の記憶、成り立ち、朝鮮人虐殺の証言、生活する現代の住民の身振りなどを捉え、それらを元に、演技、ナレーション、漫画などの重層的な語りによって過去から現代の事象を紡ぐ。



2022年8月27日(土)

上映時間(約70分)

①17:00- (開場16:40)

②19:00- (開場18:40)

入場料: 1000円

会場: The side

〒600-8059 京都府京都市下京区下鱒形町5 4 3 2F 有隣文化会館

お問い合わせ: mail@olta.jp

主催: オルターメイン実行委員会

協力: タカハシ'タカカーン'セイジ

助成: 公益財団法人セゾン文化財団

出演 田上碧、星葡萄、中島百合絵、遠藤純一郎、ヨネザワエリカ、井上徹、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者

舞台設計・CG デザイン 長谷川義朗

舞台制作・道具・衣装 オル太

漫画 斉藤半勝

音響・録音 井上徹

撮影・映像編集 縣健司

脚本・映像編集 メグ忍者

演出・構成 Jang-Chi

オル太

2009年に結成された6名のアーティスト集団。メンバーは井上徹、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang-Chi。主な展覧会や公演に、YPAM ディレクション (KAAT 神奈川芸術劇場、2021) 『超衆芸術 スタンドプレー』(ロームシアター京都、2020) 『青森 EARTH2019: いのち耕す場所—農業がひらくアートの未来』(青森県立美術館、2019) 釜山ビエンナーレ 2016 など。